

研究者情報

フリガナ氏名	オカヤマ マサト 岡山 正人	職名/学位	教授/博士(工)
所属学科	流通情報工学科	所属学会	都市計画学会, 土木学会, 日本航海学会
専門分野	・交通計画 ・社会調査、データ解析	利用可能な設備等	特になし

研究テーマ

- ・過疎・高齢化地域におけるモビリティ確保に関する研究
- ・公共交通機関の利用促進策に関する研究

過疎・高齢化地域における公共交通に関する研究

【概要】

大崎上島で運行されているコミュニティバス「おと姫バス」を例に取り、過疎・高齢化が進む地域における公共交通について、税金による補助額の妥当性、便数や料金のあり方、利用促進方策など、様々な角度から研究を進めている。

また、大崎上島の高速船の補助政策についても同様に研究を行っている。

【特徴】

アンケート調査結果などのデータをもとに統計的な分析を行うことで、計量的で客観的な提言を提示することを目指している。

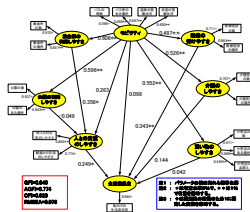
また、高齢者などが持つて歩ける折り畳み式の時刻表の開発、および、バスの運行情報や地域のイベント情報などをバス内や主要なバス停で閲覧できるシステム「しまナビ」の開発など、政策的な提言だけではなく、公共交通機関の利用促進に役立つものについても開発を行っている。



大崎上島を走る



大崎上島で



高齢者によるモビリティに関する

意識構造モデル



“しまナビ”の端末(上)と表示例(下)

コミュニティバス「おと姫バス」 運航されている「高速船」

本研究の成果・適用分野・アピールポイント

◆「おと姫バス」について

- ①おと姫バスの住民による経済的評価に比べ、その補助額は少し高かったものの必要性を確認できた。
- ②「おと姫バス」の折り畳み式「時刻表」について作成した。
- ③「しまナビ」の開発において、「おと姫バス」の運行状況や地域のイベント情報を閲覧できるようにした。

◆「高速船」について

- ①高速船の島民による経済的評価から、その補助金の妥当性を確認できた。
- ②赤字額を減らすためには、所要時間が長くなっても速度を落とすことによる燃料費の節約が妥当であることを示した。



折り畳み式の「おと姫バス」の時刻表

提供可能な連携

技術相談	共同研究	受託研究	施設利用	機器利用
可	可	可	不可	不可